

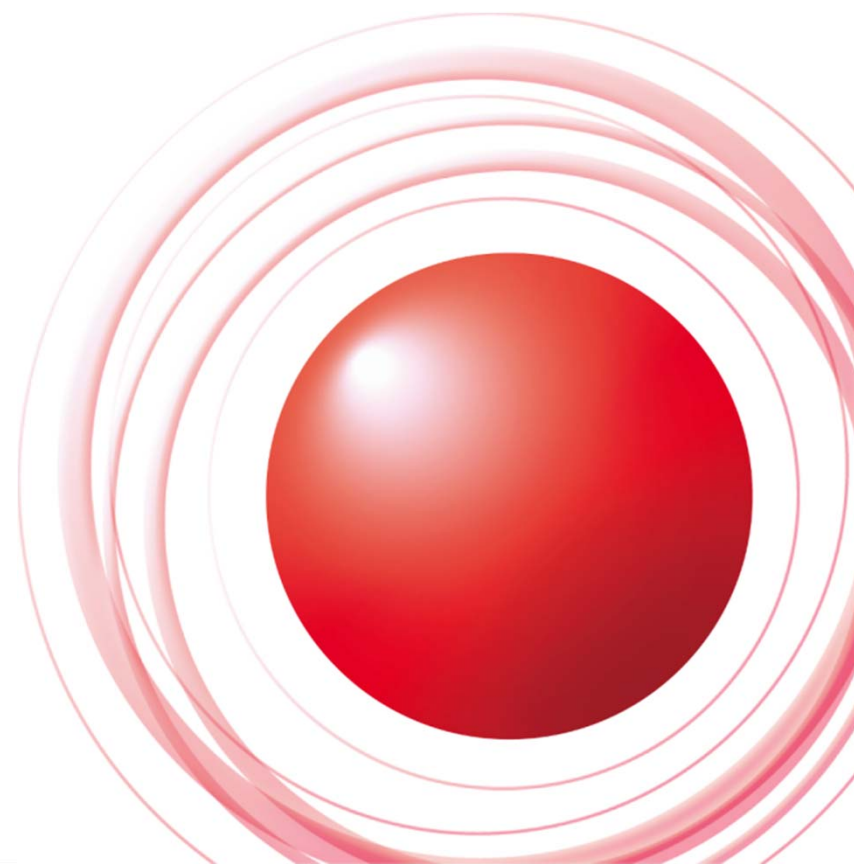
平成26年3月期 第3四半期 決算短信〔米国会計基準〕（連結）
（別紙）参考資料：「2014年3月期第3四半期（平成26年3月期）連結業績説明会資料」

2014年3月期 第3四半期 連結業績説明会



株式会社インターネットイニシアティブ（証券コード:3774）
2014年2月7日（金）

Ongoing Innovation



アジェンダ

I . 2014年3月期 第3四半期総括

II . 2014年3月期 第3四半期連結業績

III . ご参考資料

I. 2014年3月期 第3四半期連結累計期間 総括

<< 第3四半期連結累計期間 実績 >>

・営業収益(売上高)	82,746百万円 (前年同期比 7.9 %増)
・売上総利益	15,518百万円 (前年同期比 0.0 %減)
・営業利益	4,211百万円 (前年同期比 16.5 %減)
・税引前四半期純利益	4,625百万円 (前年同期比 6.5 %減)
・当社株主に帰属する四半期純利益	2,924百万円 (前年同期比 6.0 %減)

<< 通期見通し >>

1,170→ 1,140億円 (前年比 7.3 %増)
94→ 60億円 (前年比 22.6 %減)
90→ 65億円 (前年比 16.2 %減)
60→ 47億円 (前年比 11.3 %減)

市場機会の中期拡大を展望、クラウド大口化・SI復調等に確かな手応え

期初より人材獲得強化、クラウド・ネットワークインフラ継続投資、国際事業展開強化

通期見直し下方修正、配当は修正なし

売上状況	営業利益状況
<ul style="list-style-type: none"> ◆ ストック売上 特定大口顧客(通信事業者、ゲーム2社、WAN 3社)にて売上乖離、通期で想定比△約20億円 ◆ 個人向け・一般法人サービス売上 着実に積み上げ ◆ SI構築強含みで推移 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 積極展開により営業費用増加(人件関連、地代家賃、外注関連、減価償却等) ◆ 特定大口顧客での接続・WAN価格見直し、クラウド等利用サーバ減によるストック売上想定乖離が利益に直接マイナス影響 ◆ 案件大口化にてSI構築の粗利低下基調 ◆ 国際事業強化にて先行的費用拡大、通期で約6億円の損失見込み

法人・官公庁のITアウトソース需要は旺盛

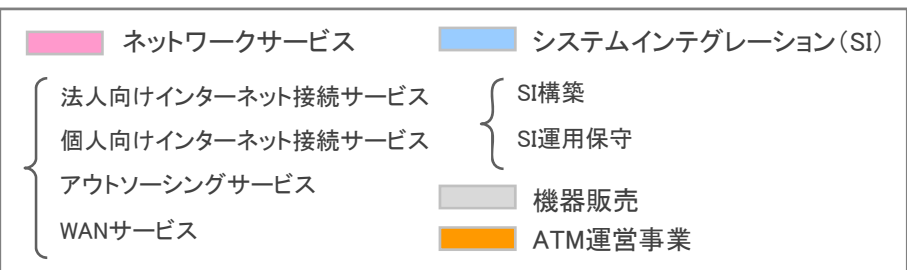
来期に向け、ストック売上 重点注力、サービス継続開発による競争力強化、大口顧客コントロール強化、先行的投資・費用の増益寄与等による大幅増益を推進

Ⅱ-1. 2014年3月期 第3四半期連結累計期間 実績サマリー

(単位: 億円)

	売上高比	売上高比	前年同期比 増減	売上高比	売上高比	前年比 増減
	1Q-3Q13 (13/4~13/12)	1Q-3Q12 (12/4~12/12)		FY2013 当初見通し (13/4~14/3)	FY2013 修正後見通し (13/4~14/3)	
営業収益 (売上高)	827.5	766.9	+7.9%	1,170.0	1,140.0	+7.3%
売上原価	81.2% 672.3	79.8% 611.7	+9.9%	—	—	—
売上総利益	18.8% 155.2	20.2% 155.2	Δ0.0%	—	—	—
販売管理費等	13.7% 113.1	13.7% 104.8	+7.9%	—	—	—
営業利益	5.1% 42.1	6.6% 50.4	Δ16.5%	8.0% 94.0	5.3% 60.0	Δ22.6%
税引前 四半期純利益	5.6% 46.3	6.4% 49.5	Δ6.5%	7.7% 90.0	5.7% 65.0	Δ16.2%
当社株主に帰属する 四半期純利益	3.5% 29.2	4.1% 31.1	Δ6.0%	5.1% 60.0	4.1% 47.0	Δ11.3%

Ⅱ-2. 営業収益(売上高)の推移



- ◆ 3Q13累計 ネットワークサービス: 50,301百万円 (+ 3.7% YoY)
- ◆ 3Q13累計 システムインテグレーション: 29,197百万円 (+ 14.0% YoY)
- ◆ 3Q13累計 機器販売: 1,178百万円 (+ 35.8% YoY)
- ◆ 3Q13累計 ATM運営事業: 2,070百万円 (+ 21.3% YoY)

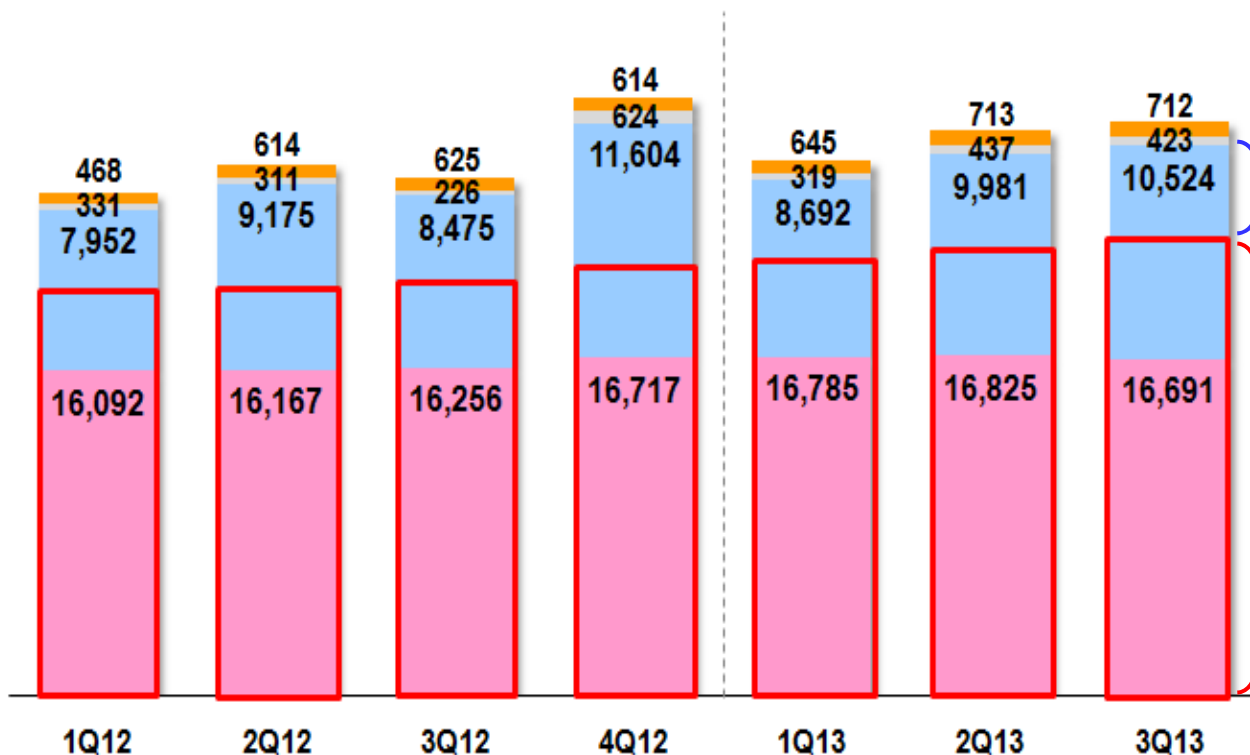
FY12: 106,248

3Q13累計: 82,746

単位: 百万円

YoY=前年同期比

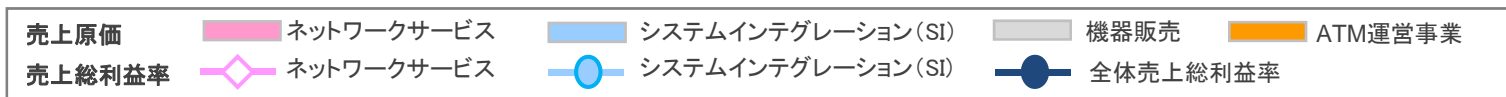
24,841 26,268 25,581 29,558 26,441 27,956 28,349



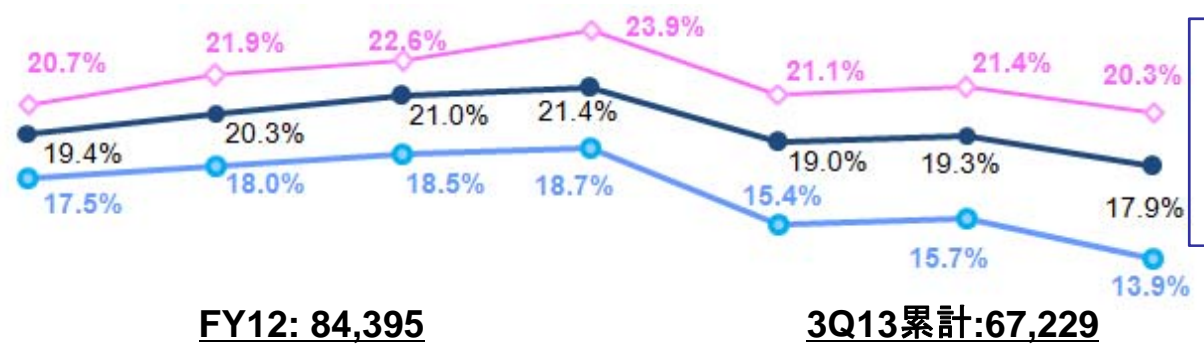
一時売上
 3Q13累計比 +19.8% YoY
 (3Q13累計売上構成比: 15.5%)
 検収時(システムが完成し引き渡すタイミング)に一括計上される売上
 ①SI構築
 ②機器販売

ストック売上
 3Q13累計比 +5.6% YoY
 (3Q13累計売上構成比: 82.0%)
 継続提供にて恒常的売上が月次計上
 ①インターネット接続サービス(法人・個人)
 ②アウトソーシングサービス
 ③WANサービス
 ④SI運用保守

Ⅱ-3. 売上原価・売上総利益率の推移

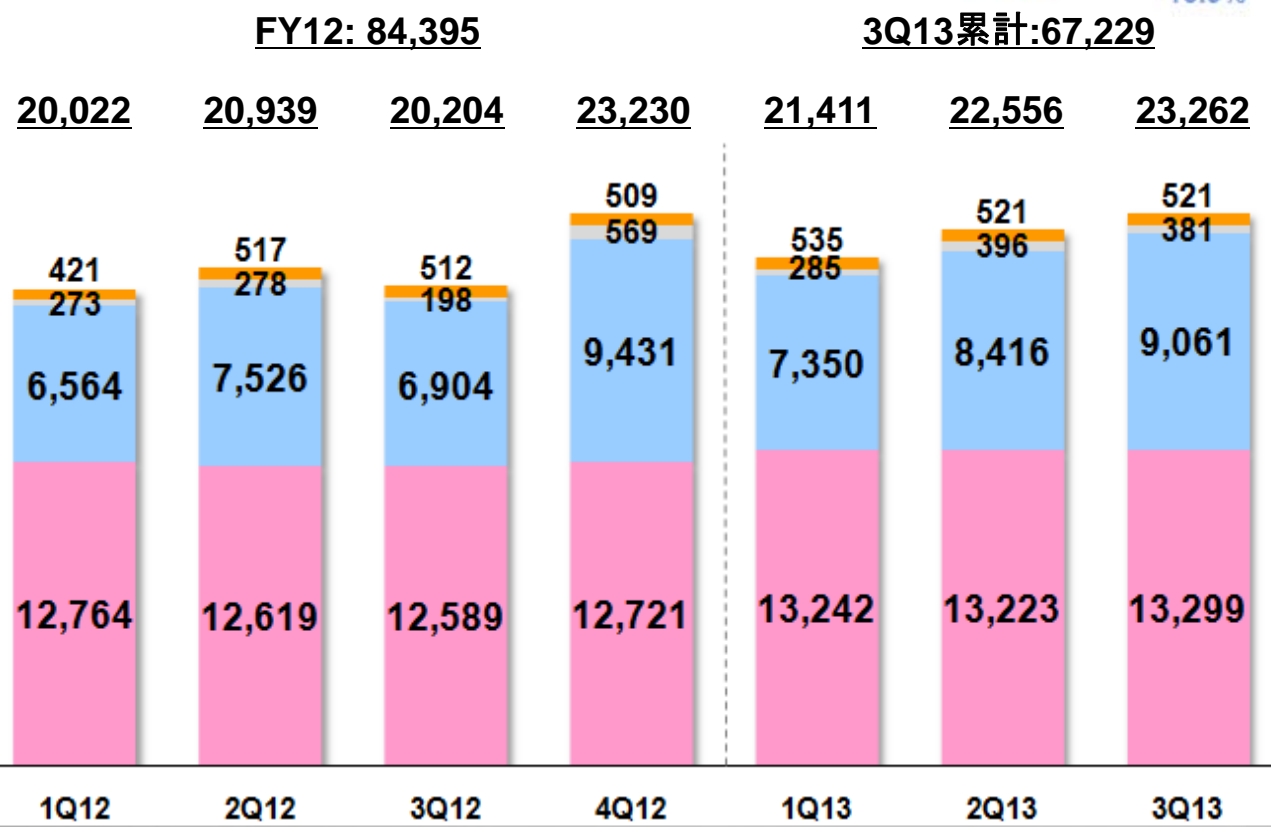


単位: 百万円
YoY=前年同期比



3Q13累計 売上総利益: 15,518百万円
 (△7百万円・△0.0% YoY)

3Q13累計 売上総利益率: 18.8%
 (△1.5ポイント YoY)

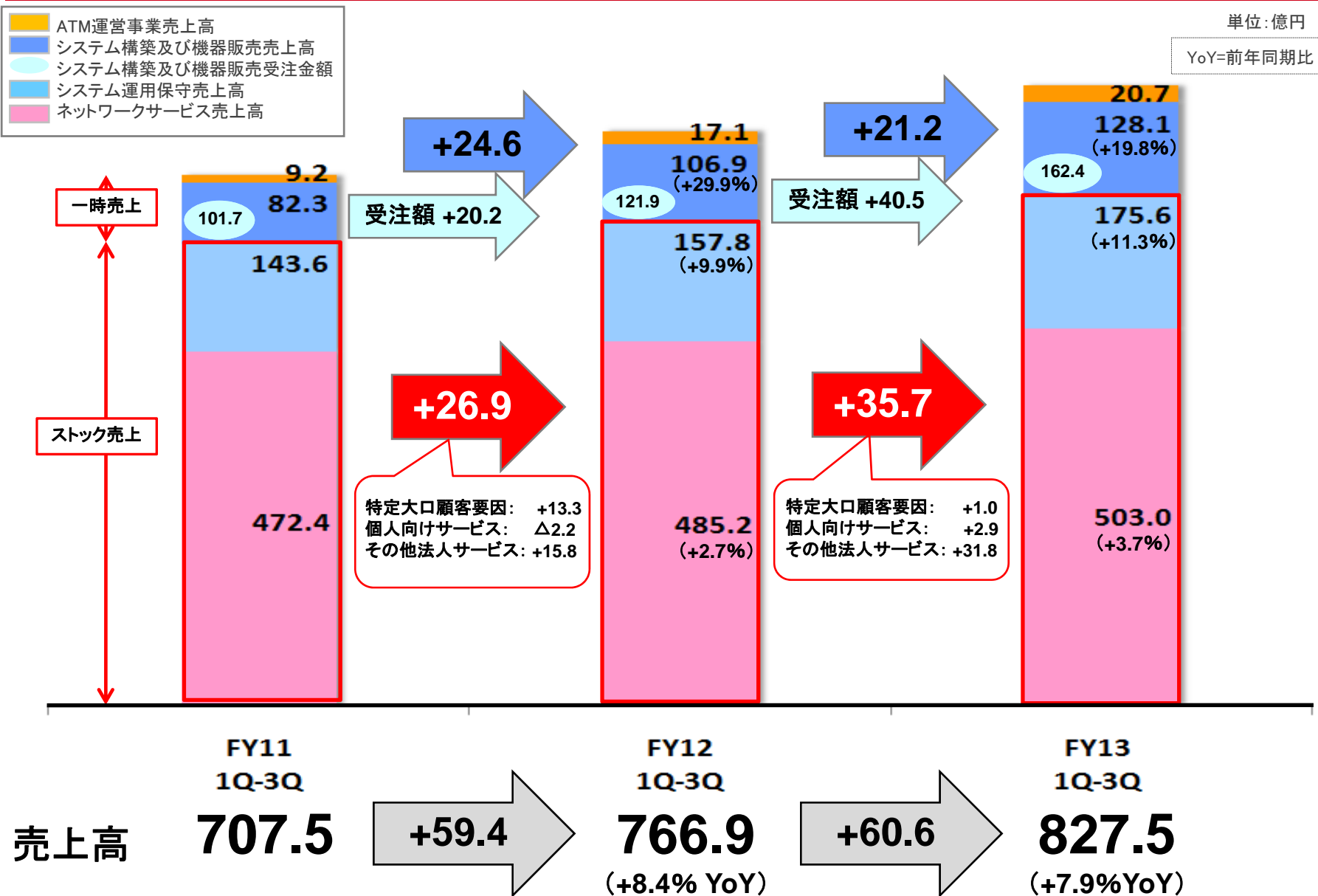


◆3Q13累計 ネットワークサービス
 売上総利益: 10,538百万円
 (△6百万円・△0.1% YoY)
 売上総利益率: 20.9%
 (△0.8ポイント YoY)

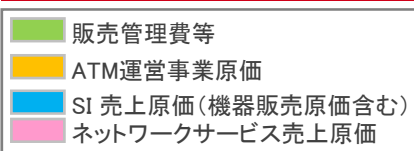
◆3Q13累計 SI
 売上総利益: 4,371百万円
 (△237百万円・△5.1% YoY)
 売上総利益率: 15.0%
 (△3.0ポイント YoY)

◆3Q13累計 ATM
 売上総利益: 494百万円
 (+238百万円・+92.7% YoY)
 売上総利益率: 23.8%
 (+8.8ポイント YoY)

Ⅱ-4. 3Q累計売上高の推移



Ⅱ-5. 3Q累計営業費用の推移



【営業費用の主増減要因】

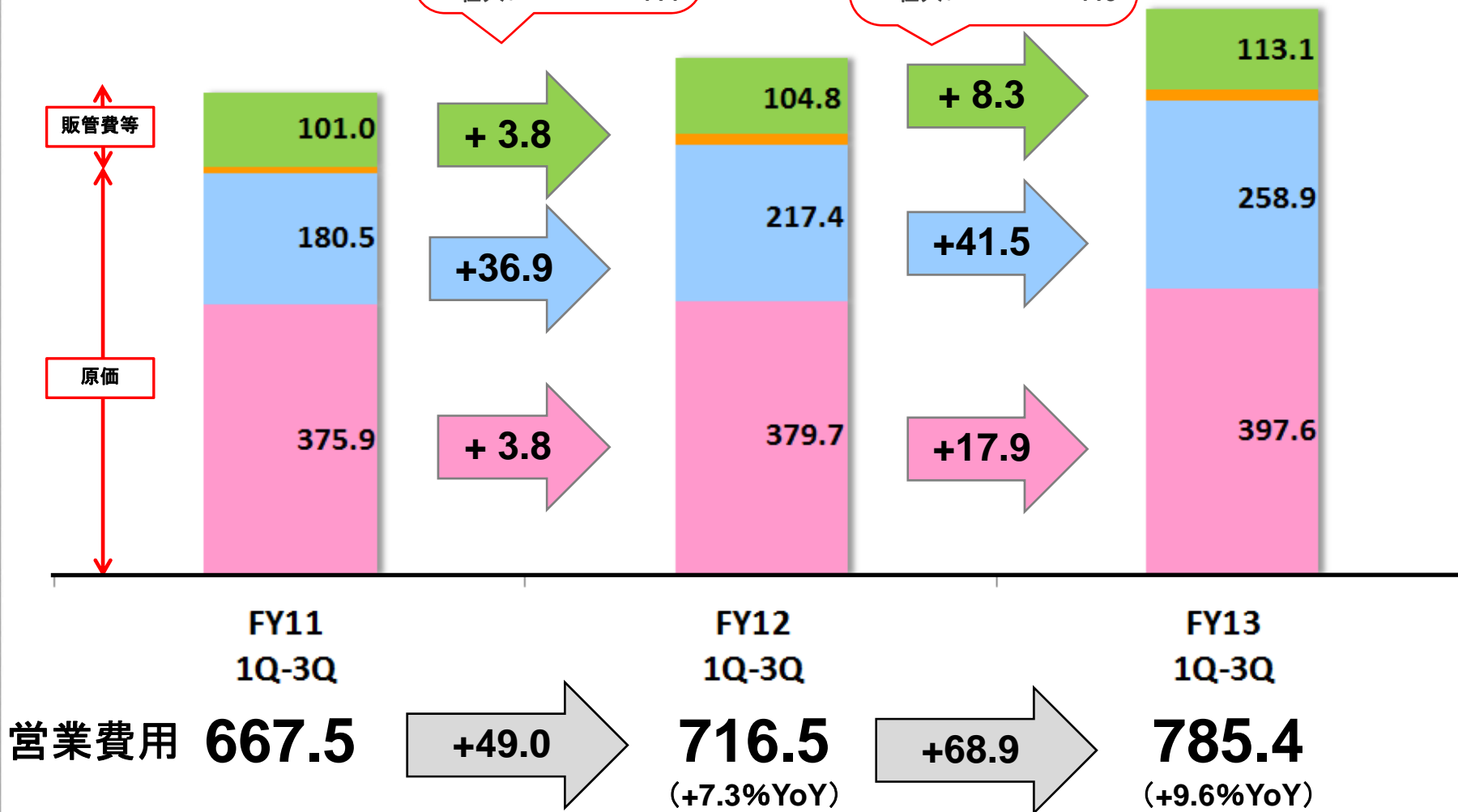
人件関連費: +7
 外注関連費: +19
 地代家賃等: △1
 減価償却費: +3
 仕入: +14

【営業費用の主増減要因】

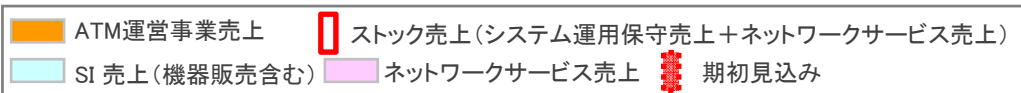
人件関連費: +13
 外注関連費: +19
 地代家賃等: +4
 減価償却費: +8
 仕入: +13

単位: 億円

YoY=前年同期比



Ⅱ-6. 四半期売上高の推移(期初見込み比)



単位: 億円

YoY=前年同期比

売上 264.4
(YoY) (+6.4%)

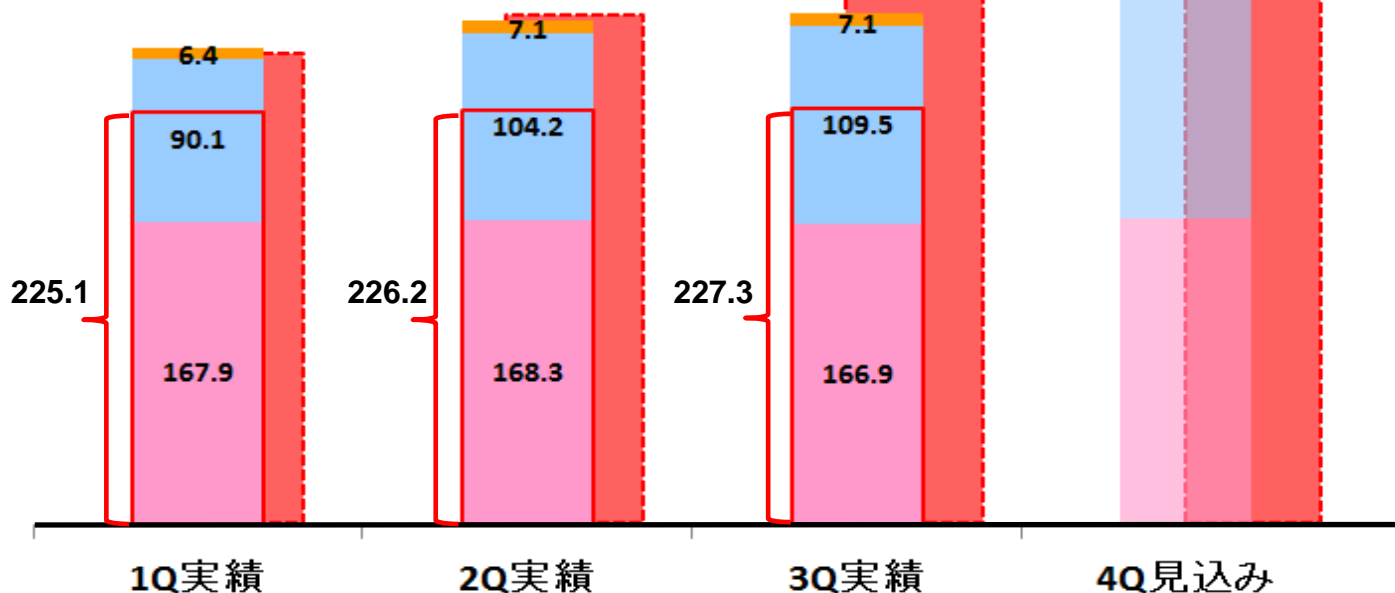
279.6
(+6.4%)

283.5
(+10.8%)

312.5
(+5.7%)

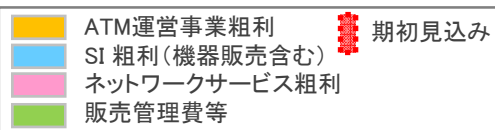
期初見込み差額

30.0



- SI構築は強含み推移 3Q累計 売上+19.8% YoY、受注額+33.2% YoY
- ストック売上において四半期毎に順次想定より乖離
 - ▶特定大口顧客要因にて通期約20億円の想定乖離見込み
 - ▶通信事業者1社、ゲーム2社、WAN3社 売上総額 FY11:128億円→FY12:147億円→FY13見込み:143億円
 - ▶個人向け売上 LTE好調にて堅調推移
 - ▶その他法人向けストック売上 前期比伸長もサービス提供後ろ倒し・SIリソース偏重等あり想定に及ばず
- ATM運営事業 設置台数・売上ともに着実に増加、設置台数は当初想定に及ばず通期約3億円の想定乖離見込み

Ⅱ-7. 四半期営業利益の推移(期初見込み比)

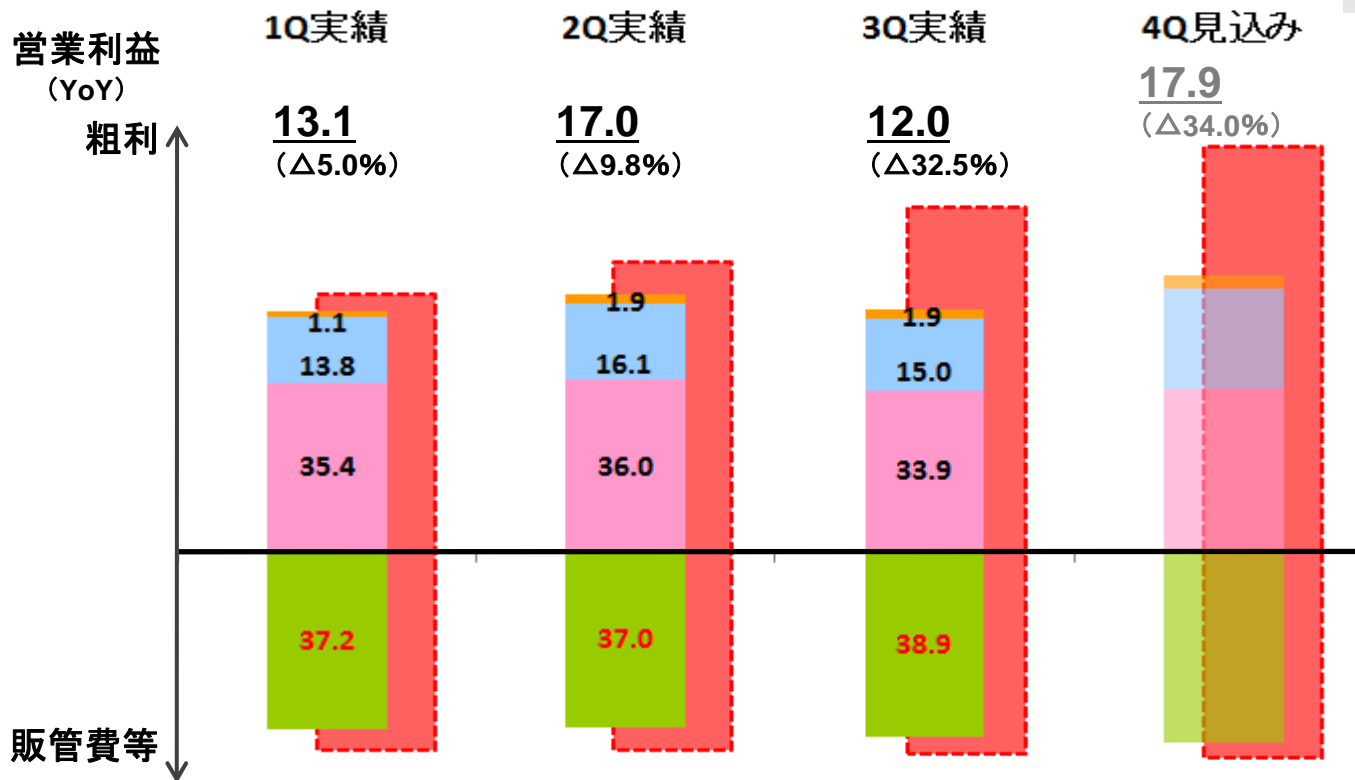


単位: 億円

期初見込み差額

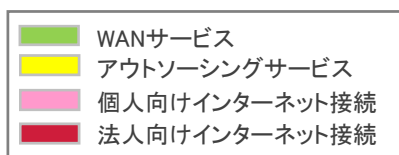
34.0

YoY=前年同期比

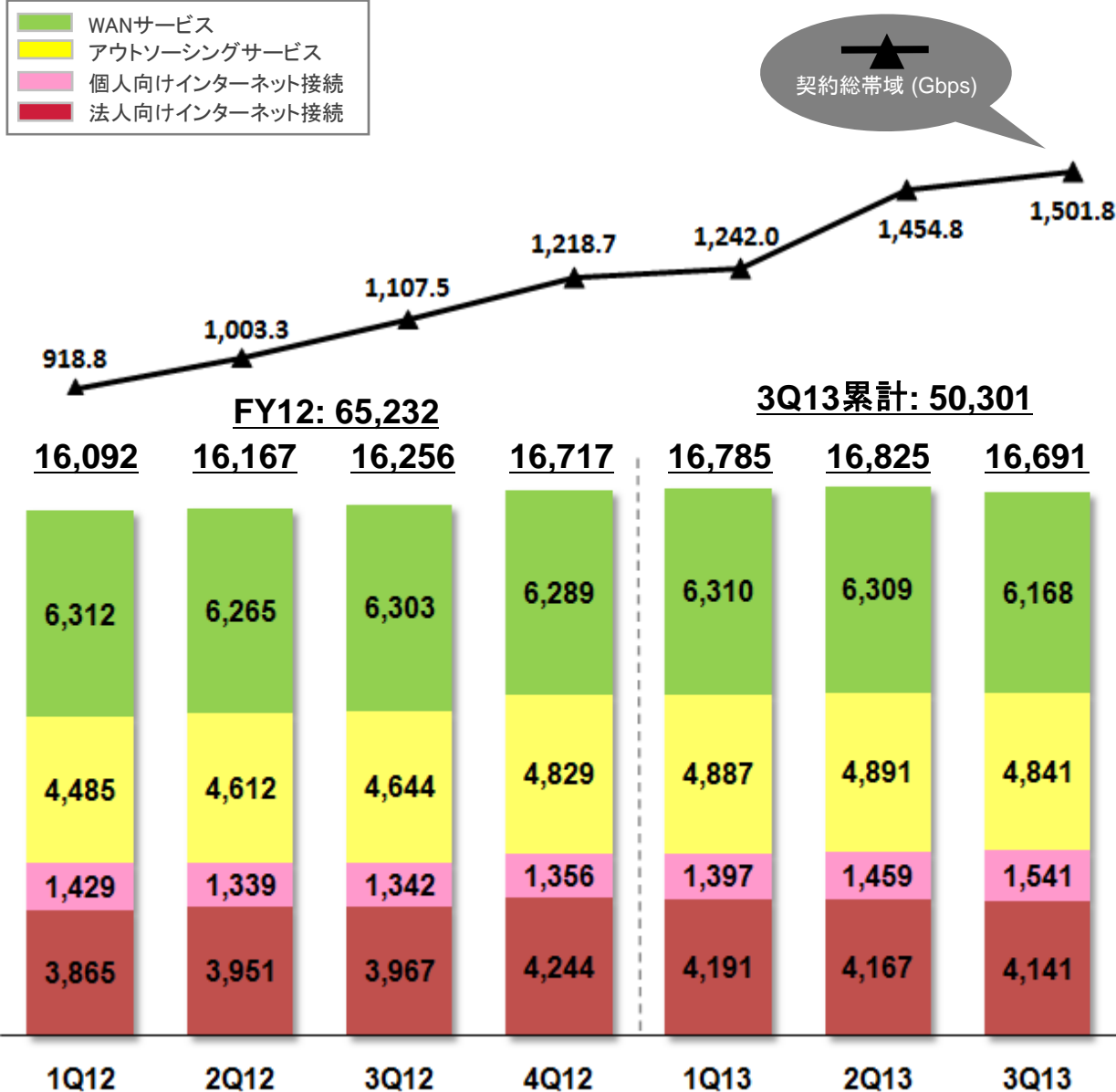


- スtock売上乖離の順次拡大が利益に影響
 - 接続・アウトソース・SI運用 接続価格見直し・サーバ利用減 売上乖離が利益に影響
 - WAN 長期契約切替時等の価格見直し適用、売上は利用増で微減だが利益影響大
- SI構築は案件大口化による粗利低下基調で通期約5億円強の想定乖離見込み
- ATM運営事業は着実に利益増加するも設置台数未達により通期約1億円の想定乖離見込み

Ⅱ-8. ネットワークサービス ① 売上の推移



単位: 百万円



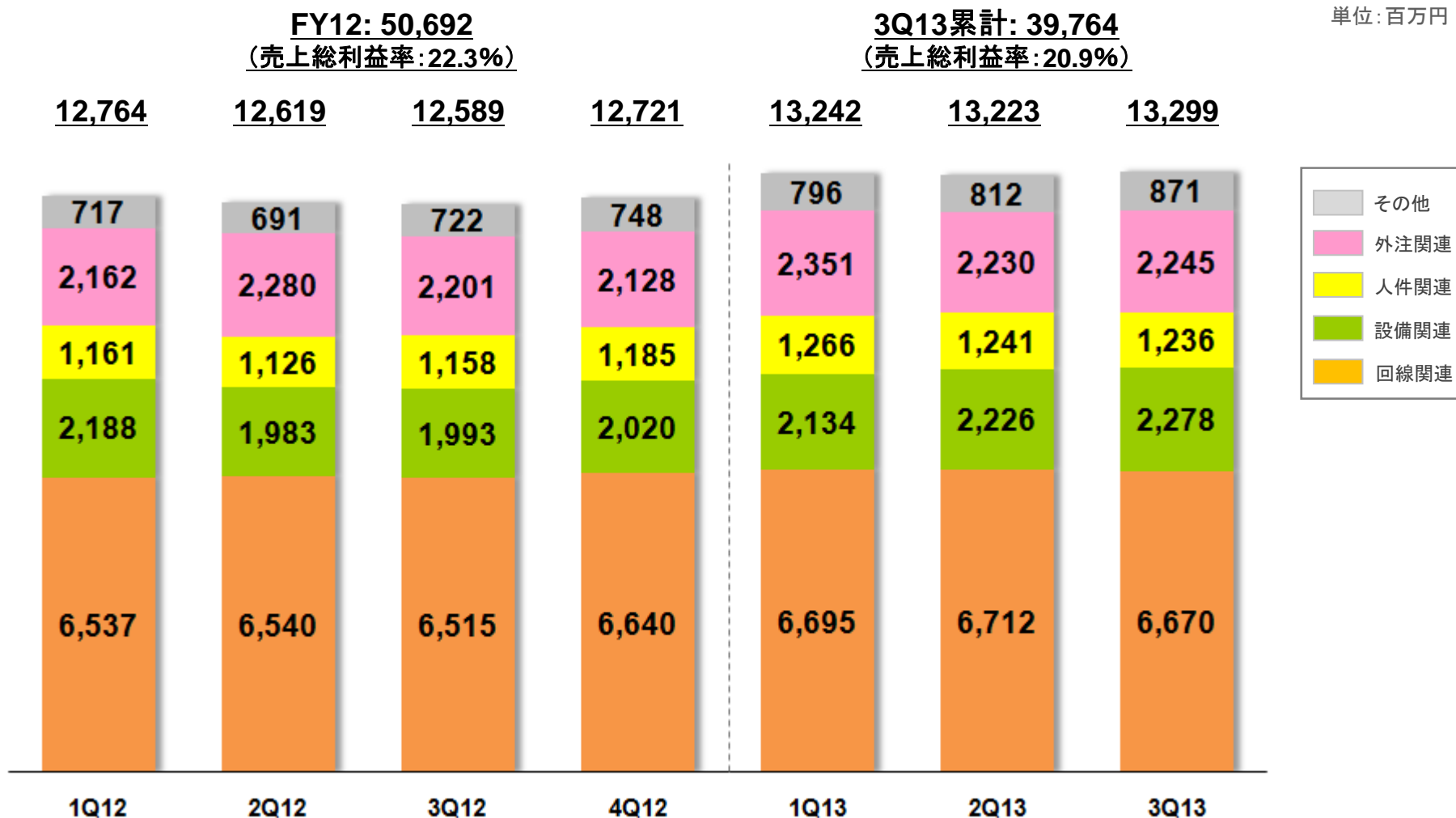
契約総帯域 (Gbps)

YoY=前年同期比
QoQ= 前四半期比

- ◆**3Q13 法人向けインターネット接続:**
 +174百万円・ +4.4% YoY
 △ 26百万円・ △0.6% QoQ
 > 特定大口顧客で期初価格見直し、想定を下回るトラフィック増
 > 3Q13末Gbps超契約件数: 263件 (2Q13末 255件、3Q12末 186件)
- ◆**3Q13 個人向けインターネット接続:**
 +199百万円・ +14.8% YoY
 + 82百万円・ +5.7% QoQ
 > IJmio/LTEサービス契約純増数推移:
 約28,000件 (3Q13)、約22,000件 (2Q13)
 約18,700件 (1Q13)、
 累計 約119,000件 (3Q13末)
- ◆**3Q13 アウトソーシングサービス:**
 +197百万円・ +4.2% YoY
 △50百万円・ △1.0% QoQ
 > 特定大口顧客の減収影響あり
- ◆**3Q13 WANサービス:**
 △135百万円・ △2.1% YoY
 △141百万円・ △2.2% QoQ
 > 期中で特定大口顧客の価格見直しあり

Ⅱ-8. ネットワークサービス ② 原価の推移

単位: 百万円

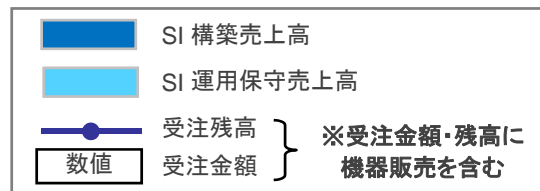
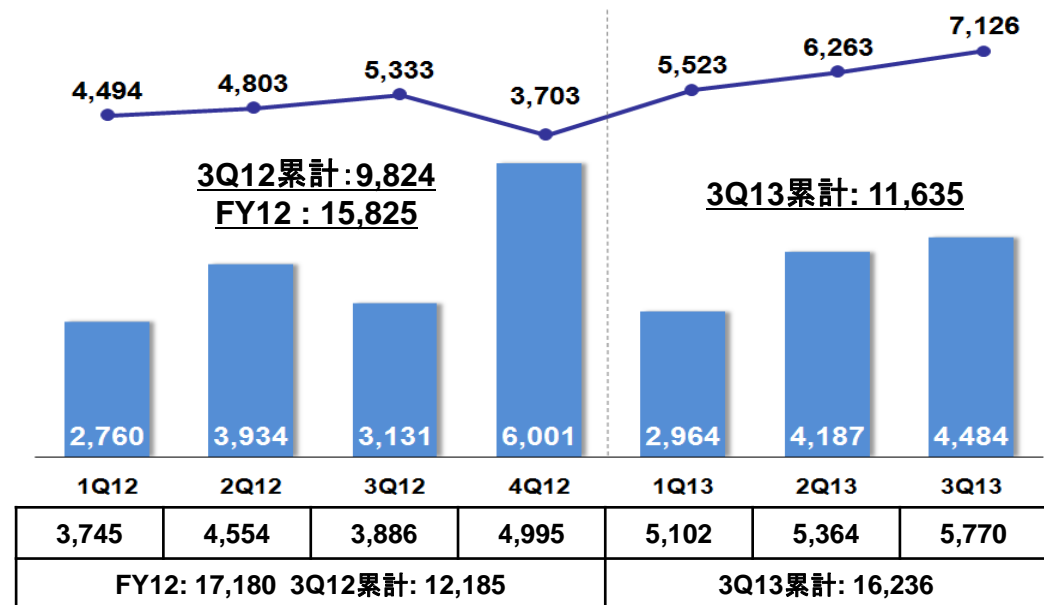


◆3Q13 ネットワークサービス原価: +710百万円・+5.6% YoY、+77百万円・+0.6% QoQ
 >人件費、設備費等の恒常的費用が期初より水準増加

YoY=前年同期比
 QoQ= 前四半期比

Ⅱ-9. システムインテグレーション(SI) ① 売上・受注等の推移

<SI 構築>

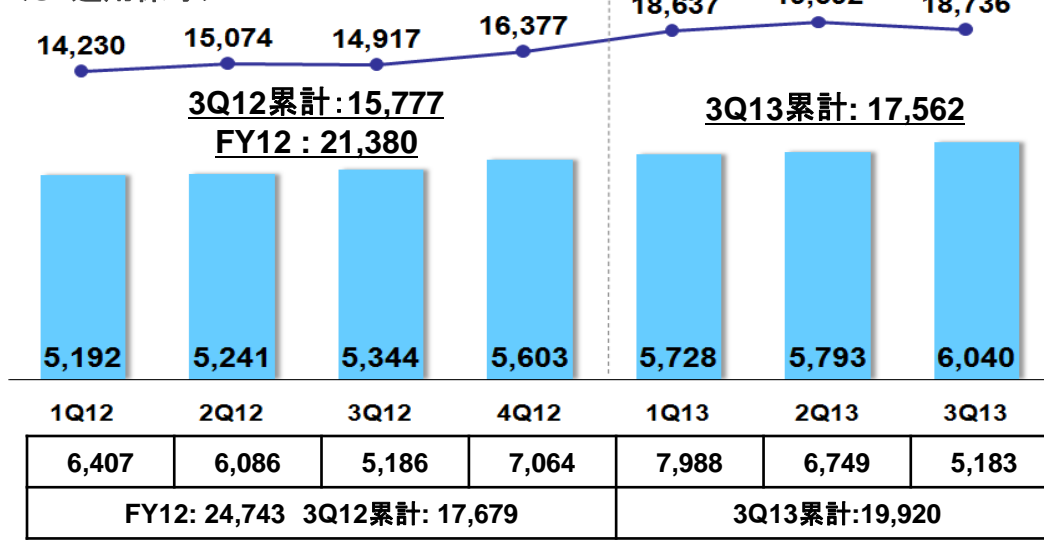


YoY=前年同期比

SI 構築等の状況

- ◆3Q13 売上: +1,353百万円・+43.2% YoY
- ◆3Q13 受注金額: +1,884百万円・+48.5% YoY
- ◆3Q13末受注残高: 3Q12末比 +1,793百万円・+33.6%
- ▶企業のSI投資意欲回復に伴い、案件数・規模増加
- ▶コンシューマ向け大規模メールサービス基盤、本社拠点間ネットワーク、グローバルTV会議システム、大学向け教育研究系システム導入、大学キャンパスシステム更新

<SI 運用保守>



SI 運用保守の状況

- ◆3Q13 売上: +696百万円・+13.0% YoY
- ◆3Q13 受注金額: △3百万円・△0.1% YoY
- ◆3Q13末受注残高: 3Q12末比 +3,819百万円・+25.6%
- ▶3Q13クラウド売上全体の79%がSI運用保守に計上 (クラウド売上全体の21%がアウトソーシングに計上)
- ▶特定大口顧客の減収影響あり

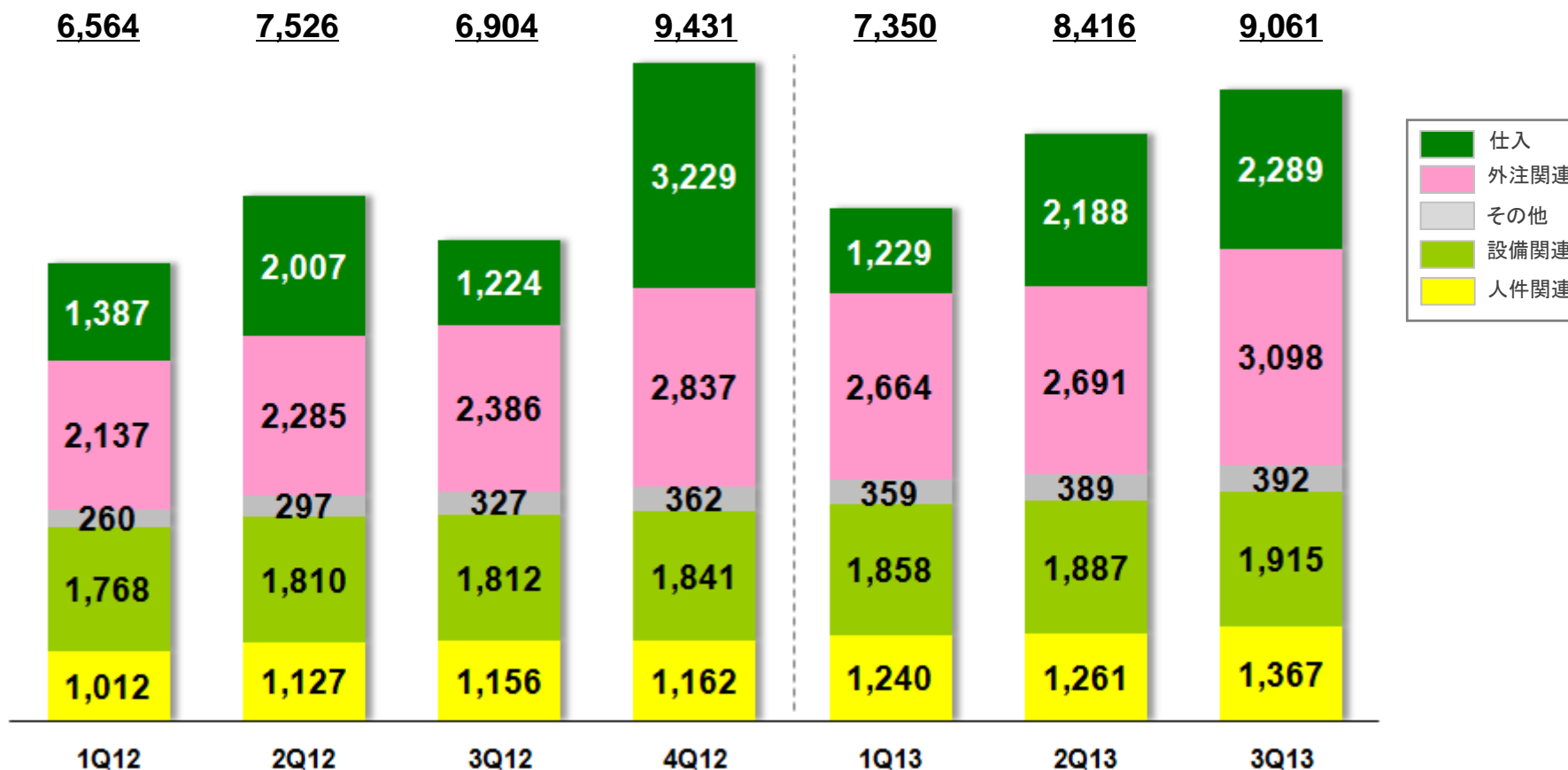
Ⅱ-9. システムインテグレーション(SI) ② 原価の推移

3Q12累計: 20,994
(売上総利益率: 18.0%)

3Q13累計: 24,826
(売上総利益率: 15.0%)

単位: 百万円

FY12: 30,425 (売上総利益率: 18.2%)

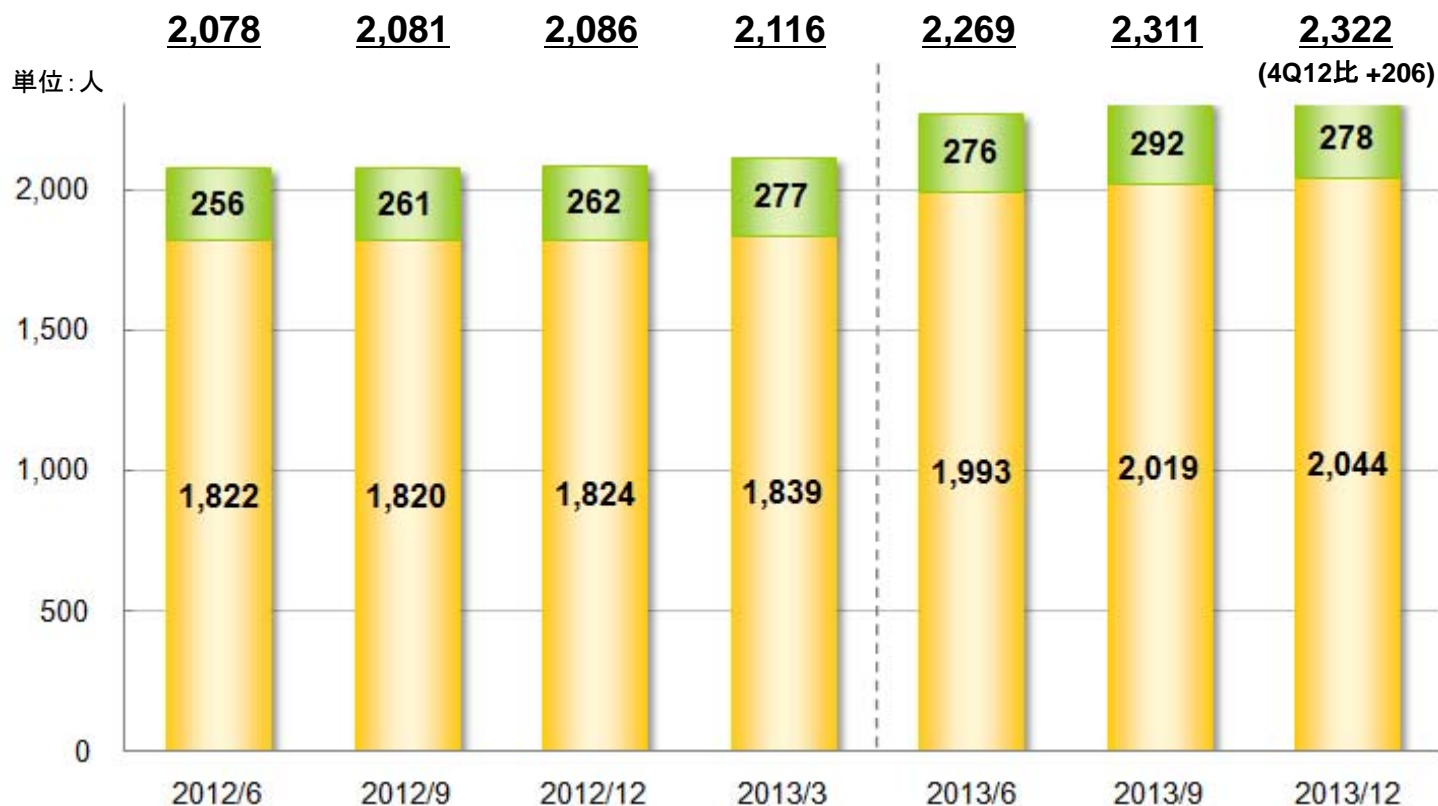


◆3Q13 SI原価: +2,157百万円・+31.2% YoY

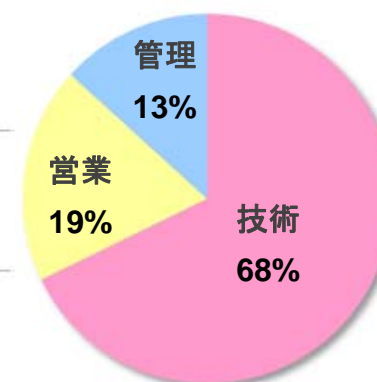
- 3Q13末外注人員数: 816名(3Q12末比 +192名、2Q13末比 +72名)
- 案件数増加による外注関連費用増加及び人員増等による人件関連費用増加
- 大口案件増加による粗利率低下傾向

YoY=前年同期比

Ⅱ-10. 連結従業員数の推移



<分野別人員構成>



3,741 (15.1%)	3,858 (14.7%)	3,902 (15.3%)	3,979 (13.5%)	4,212 (15.9%)	4,254 (15.2%)	4,317 (15.2%)
FY12: 15,480 (14.6%) 3Q12累計: 11,501 (15.0%)				3Q13累計: 12,782 (15.4%)		

人件関連費用総額
(売上高比率)

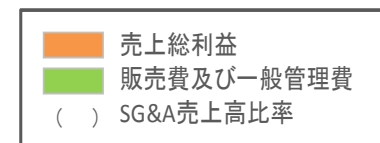
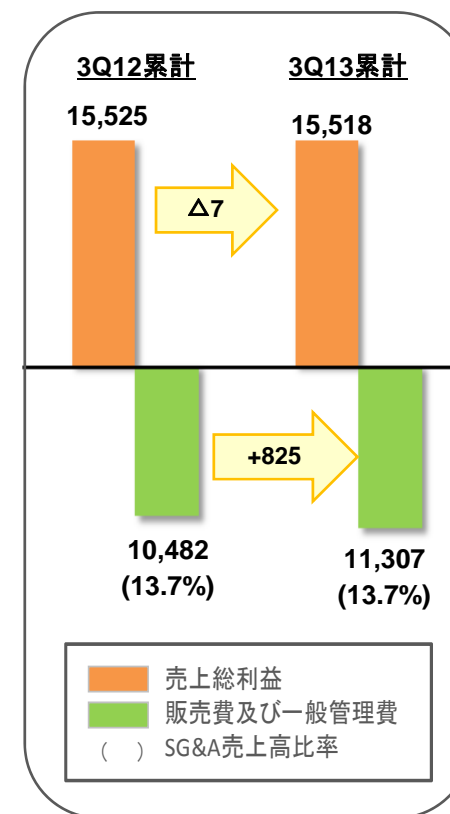
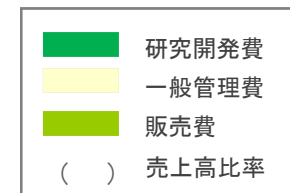
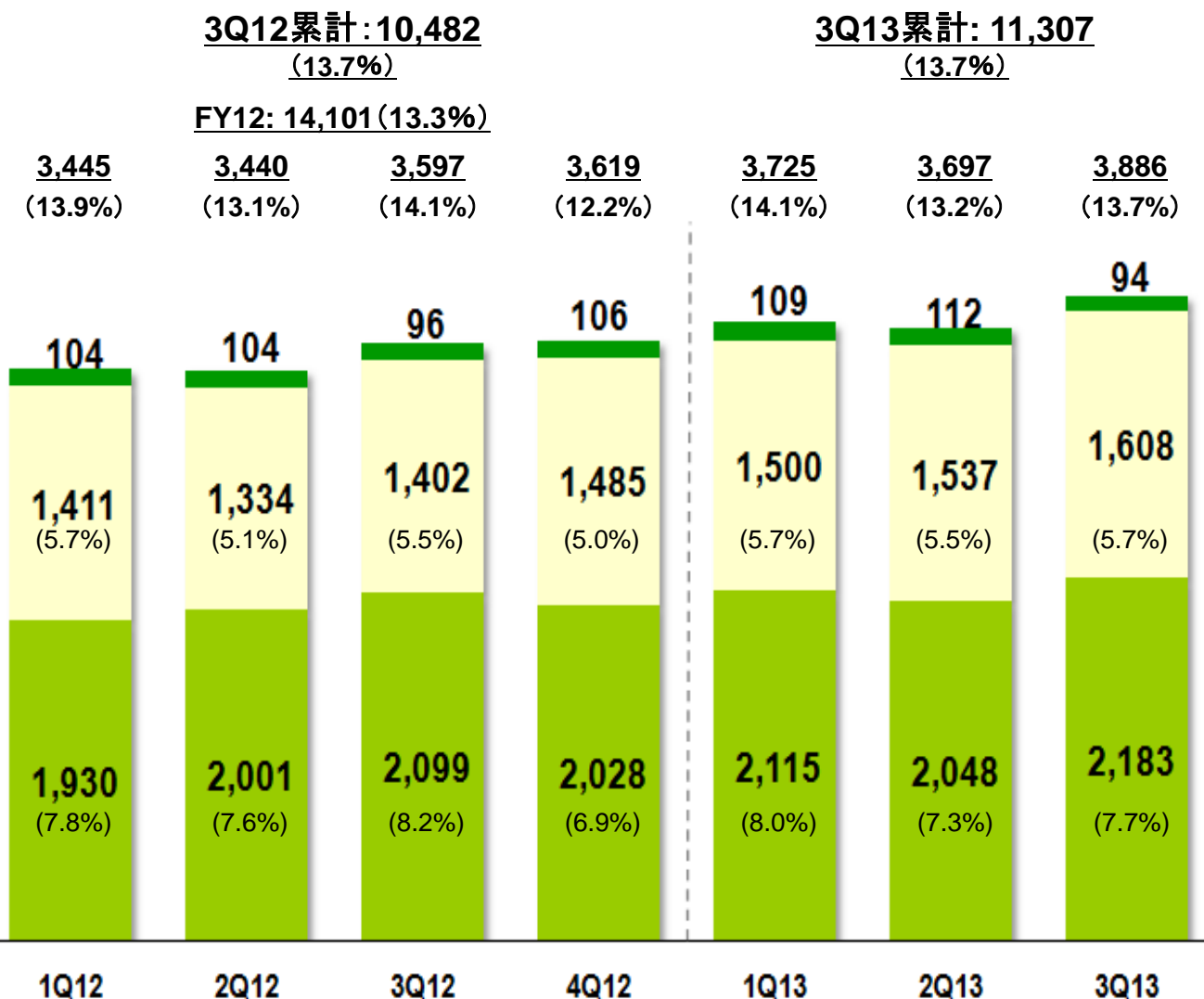
単位:百万円

- ◆ 3Q13 総人件関連費用: +415百万円 YoY、+63百万円 QoQ
- ◆ 2013年4月入社新卒社員数: 136名(2012年4月: 75名)
 - 2014年4月入社 新卒 130名予定

YoY=前年同期比
QoQ= 前四半期比

Ⅱ-11. 販売管理費・研究開発費(SG&A)の推移

単位: 百万円



- ◆ 3Q13累計: +8.2億円 YoY 人件関連費用 +4.2億円、地代家賃等 +1.8億円、販売手数料等 +1.2億円
- ◆ 3Q13: +1.9億円 QoQ 広告宣伝費用 +0.8億円、貸倒引当金 +0.4億円

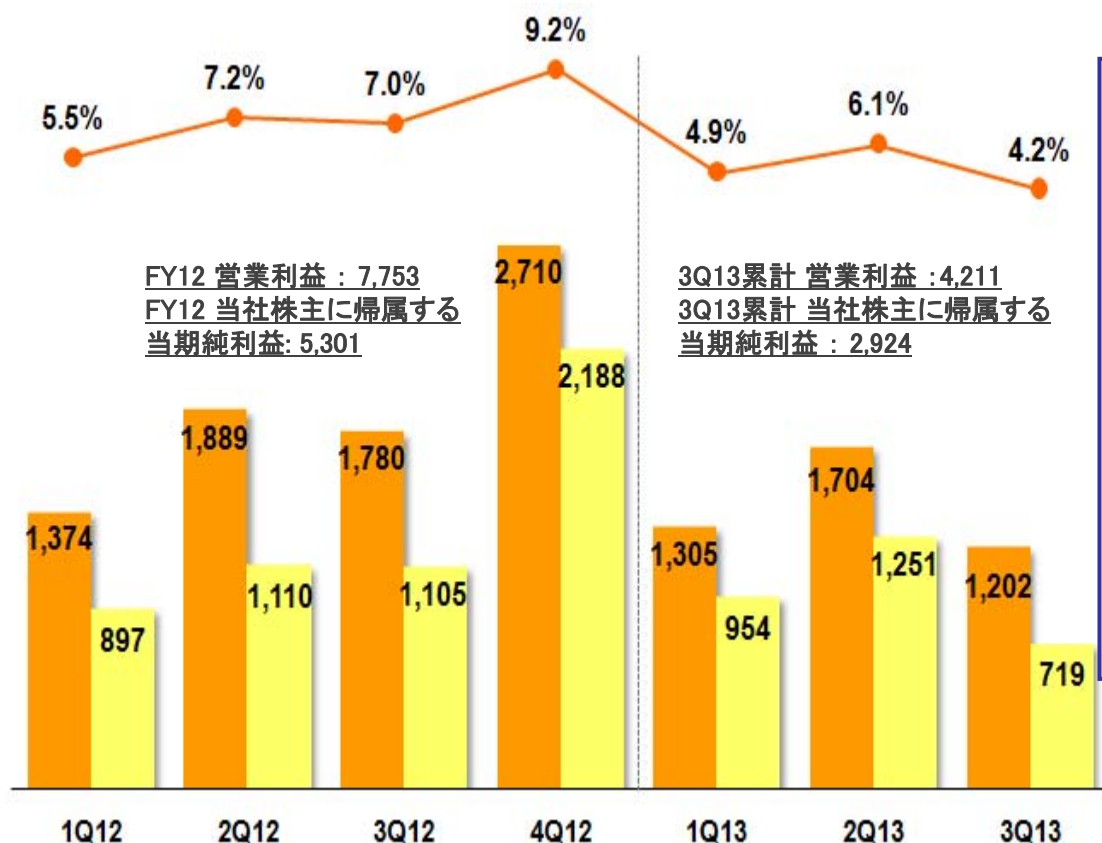
YoY=前年同期比
QoQ= 前四半期比

Ⅱ-12. 営業利益・当期純利益の推移

■ 営業利益
 ■ 当社株主に帰属する四半期純利益
 ● 営業利益率

単位: 百万円

YoY=前年同期比
QoQ= 前四半期比



FY12 営業利益 : 7,753
 FY12 当社株主に帰属する
 当期純利益: 5,301

3Q13累計 営業利益 : 4,211
 3Q13累計 当社株主に帰属する
 当期純利益 : 2,924

◆ATM運営事業セグメント利益

単位: 百万円

1Q12	2Q12	3Q12	4Q12	1Q13	2Q13	3Q13
16	67	81	75	81	160	159
FY12: 239				3Q13累計: 400		

・2014年2月7日 現在 設置済ATM台数 785台
 (2013年11月8日 698台)

◆3Q13 税引前四半期純利益: 1,278百万円
 (△492百万円・△27.8% YoY)

▶為替差益 63百万円、支払利息 62百万円、
 受取利息・配当金等 43百万円等 計上

◆3Q13 当社株主に帰属する四半期純利益: 719百万円
 (△386百万円・△34.9% YoY)

▶i-revo及びインターネットマルチフィードに係る持分法投資利益

1Q12	2Q12	3Q12	4Q12	1Q13	2Q13	3Q13	
363	764	675	1,333	269	804	378	法人税・住民税・事業税等
152	△27	28	△679	268	△99	221	法人税等調整額※
33	50	49	36	65	61	64	持分法投資損益
5	△6	△10	△5	△5	△22	△24	非支配持分に帰属する 四半期純損失(△純利益)

※ 法人税等調整額の△は
 法人税・住民税・事業税等のマイナス

Ⅱ-13. 連結バランスシート(サマリー)の状況

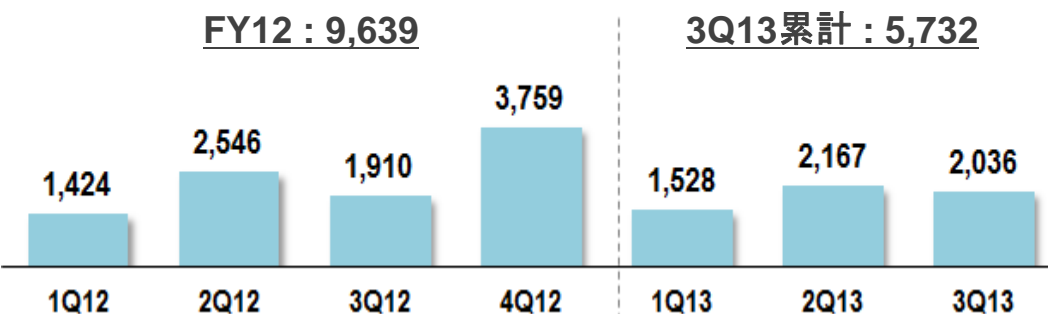
(単位:百万円)

	2013年3月末	2013年12月末	前期末比増減
現金及び現金同等物	12,259	22,102	+9,843
売掛金	18,765	16,767	△ 1,998
たな卸資産・前払費用(短期・長期)	5,995	8,906	+2,911
その他投資	3,771	7,427	+3,656
有形固定資産	23,026	26,557	+3,531
のれん・その他無形固定資産	10,761	10,425	△ 336
資産合計	82,111	100,596	+18,485
買掛金・未払金	11,922	10,620	△ 1,303
未払法人税等	1,670	177	△ 1,493
銀行借入金(短期・長期)	11,390	10,380	△ 1,010
リース債務(短期・長期)	8,876	8,571	△ 305
負債合計	44,477	41,679	△ 2,798
資本金	16,834	25,497	+8,663
資本剰余金	27,300	35,948	+8,648
欠損金	△ 6,399	△ 4,386	+2,013
その他の包括利益累計額	264	2,171	+1,908
当社株主に帰属する資本合計	37,607	58,838	+21,231

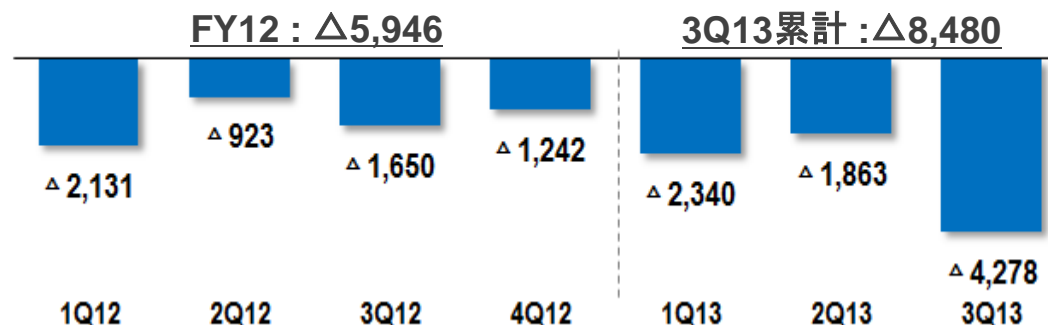
Ⅱ-14. 連結キャッシュ・フローの状況

営業キャッシュ・フロー

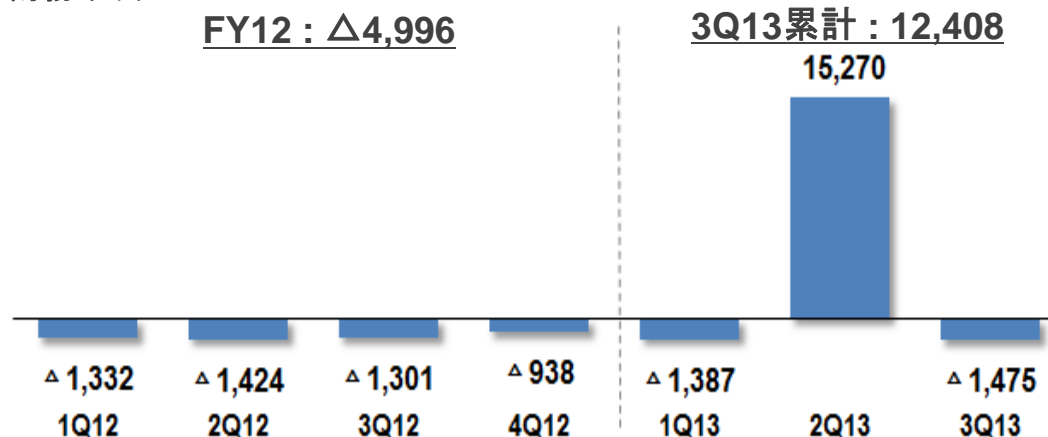
単位: 百万円



投資キャッシュ・フロー



財務キャッシュ・フロー



3Q13累計 営業キャッシュ・フロー

▶減価償却費等	6,504百万円
▶売掛金の減少	2,078百万円
▶未払法人税等の減少	△1,493百万円
▶前払費用の増加	△1,462百万円
等	

◆3Q12累計比の営業キャッシュ・フロー増減主要因

・減価償却費の増加の影響	+961百万円
・売掛金の減少の影響	+1,642百万円
・買掛金及び未払金の増減の影響	△1,047百万円
・繰延収益-非流動の増減の影響	△785百万円
等	

3Q13累計 投資キャッシュ・フロー

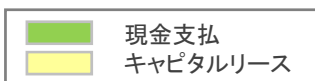
▶有形固定資産の取得	△7,228百万円
▶その他投資の取得	△1,128百万円
等	

3Q13累計財務キャッシュ・フロー

▶株式の発行による収入(新株発行費控除後)	17,271百万円
▶キャピタル・リース債務の元本返済	△2,942百万円
▶借入金(短期及び長期)の純減	△1,010百万円
等	

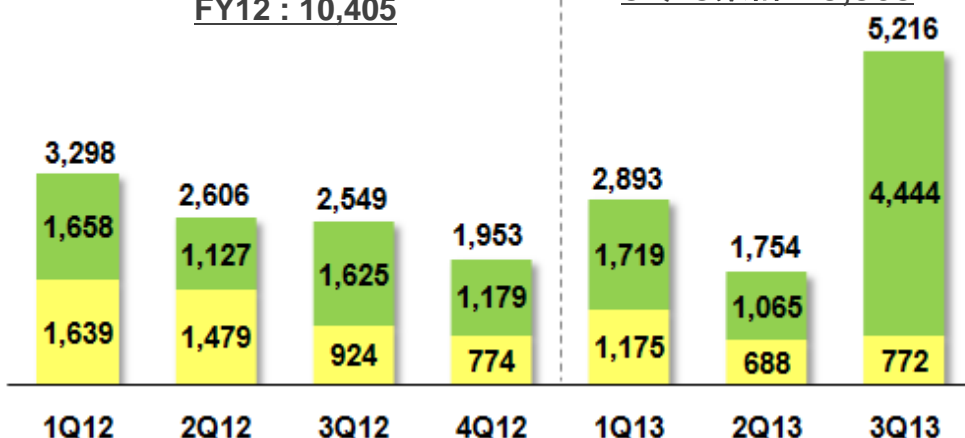
Ⅱ-15. CAPEX・減価償却・Adjusted EBITDA の状況

CAPEX(キャピタルリースを含む)



3Q12累計:8,452
FY12:10,405

3Q13累計:9,863



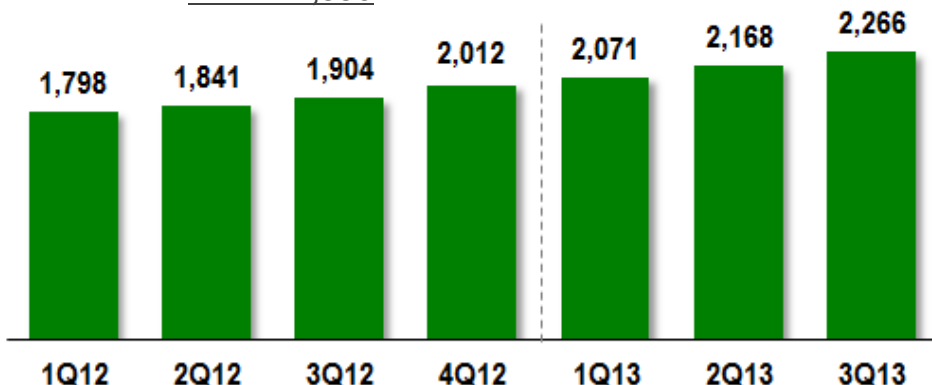
単位:百万円

3Q13 CAPEXの主な内訳	
クラウド関連 (うち、松江)	約20億円 (約12億円)
サービス拡充関連	約7億円
移転関連	約4億円
顧客関連	約3億円

減価償却費等

3Q12累計:5,544
FY12:7,556

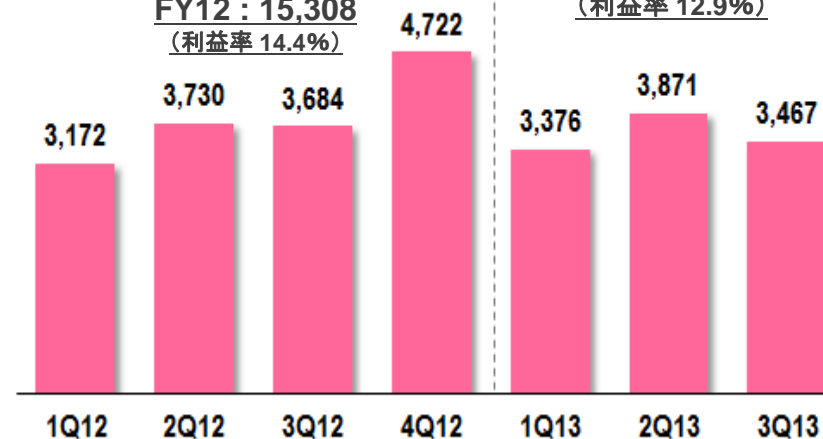
3Q13累計:6,504



Adjusted EBITDA (償却前営業利益)

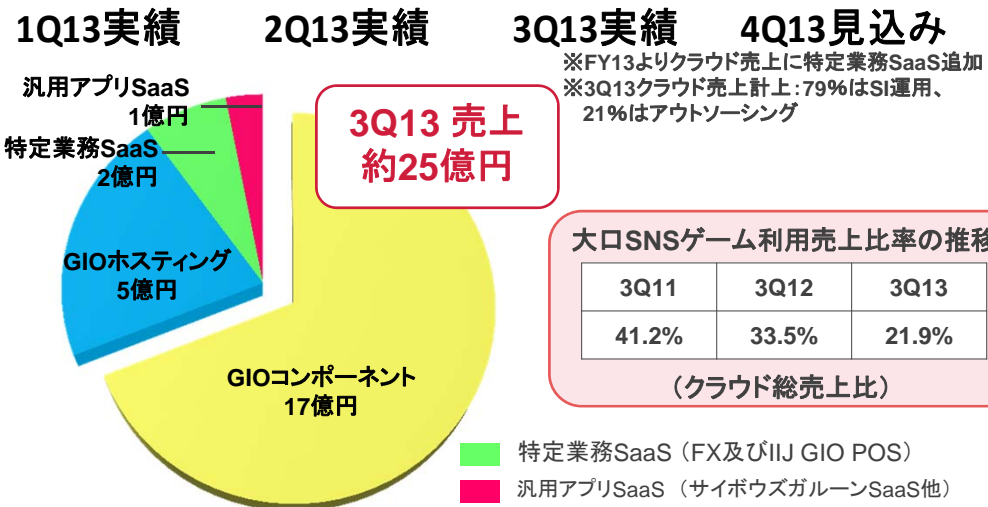
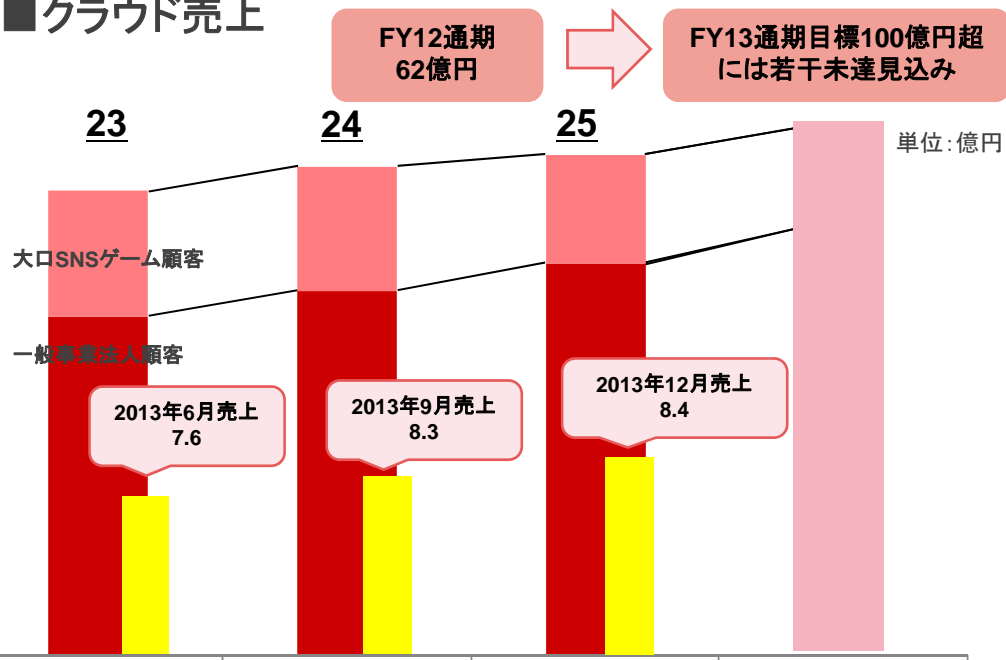
3Q12累計:10,586
FY12:15,308
(利益率 14.4%)

3Q13累計:10,715
(利益率 12.9%)



Ⅲ-1. クラウド事業の進展

■クラウド売上



大口SNSゲーム利用売上比率の推移

3Q11	3Q12	3Q13
41.2%	33.5%	21.9%

(クラウド総売上比)

- 特定業務SaaS (FX及びI I J GIO POS)
- 汎用アプリSaaS (サイボウズガルーンSaaS他)

<事業進捗状況>

- ◆ 法人大口利用が増加、月額10百万円規模案件も発生
- ◆ インフラサービスに加えSaaS・仮想デスクトップ等も順次積み上げ
- ◆ SAPジャパン他パートナーとの事業提携推進
- ◆ 来期需要に備え松江データセンターパーク 第二期棟完成、キャパシティ倍増へ
- ◆ ハイスpekサーバ、高速ストレージ、API公開等 サービススペック・サービスラインアップ順次拡充
- ◆ クラウド事業収支 四半期毎に赤字幅縮小、4Q13での黒字化期待

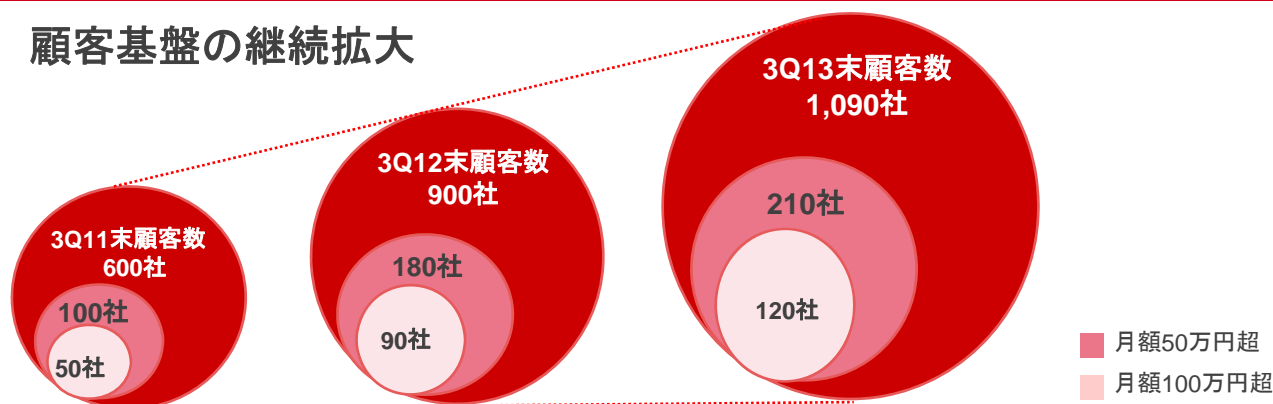
<競合状況>

- ◆ Sler: プライベートクラウド等で既存システム更新
AWS等事業者: 安価なパブリッククラウド、セールspartner活用
- ◆ I I J GIO優位性: 大口法人向けのサービススペック・ラインアップ充実、信頼性評価、SI融合・ハイブリッド提案、松江DCでのインフラ差別化
- ◆ 国内パブリッククラウド市場 2年連続シェアNo.1*、「コンテナ型DCによるクラウド基盤構築」にてITフロンティア賞受賞

※富士キメラ総研「Business Technology」2013年8月号及び2012年7月号

Ⅲ-2. クラウド利用の進展

顧客基盤の継続拡大



共通基盤

- ◆ 大手損害保険グループ会社の共通基盤
- ◆ 車両販売ディーラー向け会計システム
- ◆ 自社運用の大規模プライベートクラウドとの連携ハイブリッドクラウド基盤

基幹システム

- ◆ 株式市場取引データの遠隔バックアップシステム
- ◆ SAPシステム構築
- ◆ 情報/業務/基幹系システムなど20以上の社内システム
- ◆ 日中間連携の生産管理システム
- ◆ SAP/ワークフロー/人事給与システム等の社内業務系サーバの完全クラウド移行

オフィスIT・社内業務システム

- ◆ 銀行向けグループウェアSaaS導入
- ◆ 地方自治体向け情報系システム、仮想デスクトップ等
- ◆ 国内外社員情報共有基盤
- ◆ 人事・給与システム

ネットサイト

- ◆ インターネット中継の配信基盤
- ◆ 大手製薬会社グループの約900サイトの統合基盤
- ◆ 大手不動産グループ会社のWeb統合基盤
- ◆ ゲーム配信基盤
- ◆ 県庁サイトのバックアップサイト基盤

Ⅲ-3. 国際事業の進展

<米国>

- ◆ 米国2子会社を統合、ネットワークとSI事業 融合強化
- ◆ 米国GIO NYへの展開とサービスラインアップ強化、ゲーム会社利用は低調

<欧州>

- ◆ IIJ Europe陣容拡大、クラウド等のサービス販売強化
- ◆ ロンドン バックボーン延伸
- ◆ ロンドンGIO開始、SI・ERP販売推進
- ◆ ゲーム業界個別SI遂行

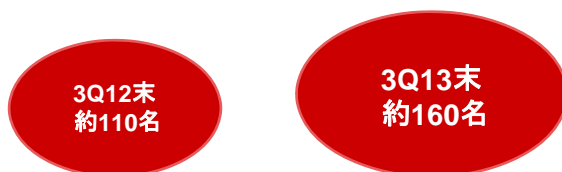
<アジア>

- ◆ 中国GIO 引き合い増加 国内大手製造・大手金融等 数十件受注、現地企業も獲得、南北GWが好評
- ◆ シンガポール拠点拡充、シンガポールGIO 展開準備中
- ◆ シンガポール・香港 バックボーン延伸

<本社>

- ◆ 国際人員拡大、海外トレーニー制度
- ◆ 国内営業連携、国内顧客の海外展開・事業企画と連携
- ◆ 国内サービスの英語化、マルチリンガルヘルプデスク
- ◆ コンテナDC販売企画、海外有力事業者との提携推進

<人員規模の拡大>



海外現法、本社国際事業要員数

<事業規模の推移>

	FY12	FY13見込み
売上	約36億円	約40億円
営業利益	約△2億円	約△6億円

各国クラウド展開、人員強化等にて先行費用増加

- ◆ 国内顧客の国内・海外でのITサービスニーズをワンストップで提供 ネットワーク+クラウド+SI
- ◆ China Telecom他 現地有力企業との提携による事業推進、伸長するアジア地域に注力
- ◆ 中長期スパンにて年商100億規模への事業拡大を展望

※ 事業等のリスク

本資料には、1995年米国民事訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)の「セーフハーバー」規定に定義する「将来性の見通しに関する記述(forward looking statements)」に該当する情報が記載されています。本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。現時点において想定しうる当社グループの主なリスク及び不確実性として、

- 1) 国内景気の低迷、経済情勢の変化等による企業のシステム投資及び支出意欲の低下、
- 2) サービスの利用が想定よりも進展しないまたは縮小することによる設備投資規模に対する収益性の悪化、
- 3) サービスの中断等による当社グループのサービスへの信頼性の低下及び事業機会の逸失、
- 4) ネットワーク関連費用、外注費、人件費等、費用規模の想定を超える増加、
- 5) リソース不足に起因する事業規模拡大の機会の逸失、
- 6) 競合他社との競争及び価格競争の進展、
- 7) 投資有価証券、営業権等ののれん資産の価値変動及び実現

等がありますが、これら及びその他のリスク及び不確実性については、当社グループまたは当社が、1934年米国証券取引法(Securities Exchange Act of 1934)に基づき米国証券取引委員会に届出し開示している英文年次報告書(Form 20-F)及びその他の書類をご参照下さい。

※ お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ (経営企画部)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL: 03-5259-6500 URL: <http://www.iij.ad.jp/ir> E-Mail: ir@iij.ad.jp

